



やす町

議会だより

第52号

(平成30年2月)

もくじ	
■12月定例会	2
■臨時会(第9回・第10回)	4
■常任委員会調査研修報告	5
■一般質問(10人が質問)	6
■議案等議決結果	16
■定例会等の出欠日数一覧	17
■やす・リビング(夢)リレートーク	18



みんなが遊べると楽しいね (子育て支援センター)

台風18号・21号

激甚災害に指定!

平成29年12月6日より12月19日まで、12月議会定例会を開催した。条例の一部改正5件一般会計や特別会計の補正予算など11議案、議員発議2件を含む31件が提案された

条例の一部改正

◇八頭町改善センター等 設置条例の一部改正

設置条例の不備な点が判明したため、一部を改正するもの。

◇八頭町特別職の職員で 非常勤のもの報酬及び 費用弁償に関する条例の 一部改正

平成29年7月から新制度による農業委員及び農地利用最適化推進委員がスタートし、このたび「農地利用最適化交付金」の活動実績及び成果実績に応じた報酬（能率給）を追加するため、所要の改正を行うもの。

また、老人ホーム入所判定委員会委員について、専門委員の報酬を追加しようとするもの。

◇八頭町議会の議員の報酬 及び費用弁償等に関する 条例の一部改正

平成29年8月の勧告を受け、「特別職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律」が成立

したので、八頭町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正を行い、期末手当の支給月数を国と同じにするもの。

反対討論

川西 聡

いくら人事院勧告とはいえこの時期に期末手当を引き上げることが、町民の支持を得られないので反対する。

◇八頭町特別職の職員で 常勤のもの給与及び旅 費に関する条例の一部 改正

平成29年8月の勧告を受け、「特別職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律」が成立したので、八頭町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正を行い、国と同じ支給月数にするもの。

財産の貸付

貸付期間はいずれも平成30年4月1日から33年3月31日までの3年間。

◇竹粉碎機ほかの貸付
八頭中央森林組合代表理事組合長 前田幸己氏に竹粉碎機1台、ウインチ1セットを貸付するもの。

反対討論

森 亜紀子

利用が進んでいないのが実態だ。管理費も説明が不十分であり、今後は修繕費、管理費の赤字額を明確にし、計画的に推進すべきだ。

反対討論

岡嶋 正広

決算資料を見る限り、借り受けているこの業者も利用者であるにも関わらず、わかり易い決算資料とは到底思えない。

また、この決算書ではどの部分が赤字なのかまったくわからない。

◇米粉製粉機ほかの貸付

有限会社こおげ農業開発センター代表取締役 滝田常生氏に米粉製粉機・振動ふるい機・シーラー・計量器・エアコンを各1台貸付するもの。

指定管理者の指定

指定期間はいずれも平成30年4月1日から33年3月31日までの3年間。

◇船岡竹林公園

【管理者】

株式会社遠藤農園代表取締役 遠藤禮子氏

◇八東フルーツ総合センター

【管理者】

八東地域振興株式会社代表取締役 岩見一郎氏

賛成討論 岡嶋 正広

将来を見据え、経営体制の拡充、さらなる農産物の販路拡大に向け、叱咤激励する。

◇やまめ供給施設

【管理者】

私都養殖漁業生産組合組合長 岡垣健児氏

◇大門体験農園

【管理者】

物産館みかど会長 下田寿久氏

◇下私都農産物加工施設

【管理者】

有限会社こおげ農業開発センター代表取締役 滝田常生氏。

補正予算

◇平成29年度一般会計補正予算(第9号)

歳入・歳出の予算にそれぞれ1077万円を追加し、総額106億2148万円とした。

(主な歳出)

○移住定住推進事業 300万円

○情報通信基盤整備事業 368万円

○社会福祉協議会補助金 808万円

○子どもの居場所づくり推進モデル事業(子ども食堂) 111万円

○障害児通所給付費等事業 351万円

○新入生入学祝い金支給予算事業費 454万円

賛成討論 川西 聡

小中学校の祝い金は、入学するであろう子ども

たちを前提としている考えであり、賛成する。

◇平成29年度一般会計補正予算(第10号)

歳入・歳出の予算にそれぞれ1億5555万円を追加し、総額107億7703万円とした。

(主な歳出)

○農地農業用施設災害復旧費 6400万円

○林道施設災害復旧費 2100万円

○公共土木施設災害復旧費 8500万円

質疑

台風による災害復旧工事は激甚災害に指定されたのか。また、修復期間はどれくらいか。

答弁 吉田町長

台風18号・21号とも激甚災害だ。

答弁 高橋建設課長

2月ごろに随時発注したい。「金崎頭首工」は繰越覚悟での発注になると思う。

議員発議

2件を発議した。

◇道路整備に係る補助率

等の高上げ措置の継続を求める意見書の提出

道路整備において、平成30年度以降も現行制度が継続されるように、国に対して意見書を提出するもの。

◇地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出

地方議会の重要性が論じられる中、町村議会議員の成り手不足が深刻化している。

幅広い世代の方々が、議員を志す環境づくりを行わなければならない。

地方議会議員の厚生年金制度を時代即したものとし、議員を志す新たな人材確保に繋げるもの。

答弁(発議者) 下田敏夫

町議会議員の待遇改善のための制度改革だ。

「地方公務員等共済組合法」、「厚生年金保険法」の改正により、議員が加入できるように意見書を提出するものだ。

反対討論 川西 聡

議員報酬を引き上げないとの問題は追いつかない。

平成28年の議会だよりで議員の出欠表を記載した。常任委員会では9割欠席、5割欠席、3割欠席という記録があった。

このような段階で議員年金や、報酬引き上げの議論をするのは、時期尚早であり反対だ。

反対討論 森 亜紀子

町民の議会に対する声を聞くこと、それを真摯に受け止めることが先決だ。

今結論を出すのではなく、もっと検討すべきであり時期尚早だ。

質疑

将来の議員の成り手に対し整備するものか、我々(現在の)議員も含んだものか。



▲ 災害にあった金崎頭首工を現地確認(皆原)

平成29年
第9回臨時議会
10月3日

町長提出議案1件を審議し、原案どおり可決した。

補正予算

◆平成29年度一般会計補正予算(第7号)

一般会計の歳入・歳出予算総額にそれぞれ3278万円を追加し、105億4499万円とするもの。

(歳入)

- 公共土木施設災害復旧国庫負担金 653万円
- 農地農業用施設災害復旧費県補助金 245万円
- 林道施設災害復旧費県補助金 150万円
- 衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査県委託金 1600万円
- 公共土木施設、農地農業用施設及び林業施設費 1600万円

害復旧事業債(町債) 600万円

(歳出)

- 総務費(台風関連職員人件費) 120万円
- 衆議院議員選挙費 1667万円
- 農地農業用施設災害復旧費 850万円
- 林道施設災害復旧費 400万円
- 公共土木施設災害復旧費 1639万円

平成29年
第10回臨時議会
11月17日

町長提出議案2件を審議し、原案どおり可決した。

町有財産処分

◆町有財産(バイケミ農法用機械)の処分

バイケミ農法研究会に機械(専用トラクターなど)を有償で譲渡するもの。

○処分価格 66万円

質疑

①なぜバイケミ農法研究会でなければいけないのか。
②除斥対象議員が実際にいるかどうか。

答弁

吉田町長
①今までの実績、経過など加味した。
②除斥はやむを得ない。それ以外の思いは無い。

質疑

利益相反に値するか。

答弁

吉田町長
バイケミ農法研究会の方が有効に活用すればありがたい。

質疑

前回提示された44万円が、今回なぜ66万円になったのか。

答弁

吉田町長
最終的に改めて検討し、通常の(補助率)2分の1として提案した。

反対討論 高橋 信一郎
(町有)財産は町民みんなのもので、公平・公正になされるべきだ。

本町がバイケミ農法を推奨しているわけでもない。町全体の農業者に対して支援すべきだ。

賛成討論

小倉 一博
補助事業者(バイケミ農法研究会)は引き続き事業継続の意向だ。そうである以上補助事業者を差し置いて一般販売にはならない。今後もバイケミ農法の普及拡大に努めてもらうのが補助事業の趣旨で、意義がある。

反対討論

川西 聡
除斥になった議員は会計責任者だ。また元町長が代表者であり、町民が何か裏があるのではと思わざるを得ない背景がある。

反対討論

森 亜紀子
補助制度で購入した機械だが、本町の財産だ。偏りのない公明正大な払い下げが妥当だ。

反対討論 岡嶋 正広
町内で利用してもらう農業者、農業団体を対象とした競売が町民も納得する。しこりを残さない手法をとるべきだ。

反対討論

坂根 實豊
44万円が高い安い、今回は66万円だなど、そんな小さなことでなく、無償譲渡なら賛成だ。私はそうあるべきだと思ひ、あえて反対する。

補正予算

◆平成29年度一般会計補正予算(第8号)
一般会計の歳入・歳出予算総額にそれぞれ6572万円を追加し、106億1072万円とするもの。
(歳入)
○公共土木施設災害復旧費国庫負担金 1600万円

○林道施設災害復旧費県補助金 2550万円
○農地農業用施設災害復旧費県補助金 842万円

○公共土木施設、農地農業用施設及び林業施設災害復旧事業債(町債) 2900万円

(歳出)
○議会事務局費(議会に対する町民アンケート) 17万円
○総務費(台風及び災害復旧関連職員人件費) 200万円
○農業農村整備事業補償費(予算組み替え) 250万円

○中学校教育振興費(全国駅伝大会出場補助金) 77万円
○農地農業用施設災害復旧費 2510万円
○林道施設災害復旧費 6400万円
○公共土木施設災害復旧費 1100万円

不登校対策と滞納整理

収納対策の先進地に学ぶ

総務教育常任委員会 調査研修報告

日程

平成29年10月30～31日

調査研修先

奈良県大和郡山市、広陵町

○大和郡山市(10月30日)
《不登校対策》

人口約65,000人・世帯数30,000で小学校8校、中学校3校。

平成13年度に不登校出現率が全国・奈良県平均と比較しても非常に高かった。3年後の16年に国の規制改革緩和に則り、市全域を対象に「不登校児童生徒支援特区」の認可を得る。

◎学科指導教室「ASU」

(Aあゆみ、Sスクエア、Uユニバース、即ちアス)個に応じた教育課程の柔軟な編成「不登校対策総合プログラム」を推進。一人ひとりにあった個別プログラムを設定する。元の学校に籍を置いた

多くなり改革に着手。

27年度の滞納額は約2億円まで減少した。

◎収納課一元管理
住基情報システムを活用した滞納管理システムを導入し、各課全ての情報を収納課で一元管理。職員4人で当たる。現年度分優先は勿論のこと、滞納金の完全徴収を徹底し、少額の分納は行わない。

所感

本町でも滞納整理は喫緊の課題である。まずは各課に分散している税・利用料などの徴収業務を一元化するべきだと痛切に感じた。



△ 広陵町庁舎

公共交通空白地有償運送

京都丹後鉄道

産業福祉常任委員会 調査研修報告

日程

平成29年10月5～6日

一・京都府京丹後市の公共交通空白地有償運送

○目的
公共交通空白地域における自家用車(白ナンバー)による有償運送であり、その実態を研修し、本町の参考とする。

○内容
・京丹後市丹後町は、人口5千人余り、65歳以上が4割を占める過疎地域で、公共交通が十分に機能していない。

・NPO法人「気張るふるさと丹後町」が取り組む支え合い交通は、米国ウーバー社のアプリを利用して住民主体の「支え合い交通」として2016年に運行開始、マイカーを利用して住民自身がドライバーとして参加している。(道路運送法第78号第2号の公共交通

空白地有償運送)

・初乗り480円、以降は120円/km、8割が買い物や病院などの地元の人が利用、今後観光などの利用を想定、PRしている。

○まとめ

通院や買い物などの簡易な交通手段の確保や福祉運送も含めた形で「公共交通空白地有償運送制度」について検討する必要性を感じた。

二・京都府宮津市の京都丹後鉄道の運行

○目的

若桜鉄道の観光列車運行を控え、先行する京都丹後鉄道の観光列車の運行実態やその取り組みについて研修、参考とする。

○内容

・平成27年に、上下分離方式に移行、鉄道用地・施設・車両を北近畿タ

ンゴ鉄道株(第3種鉄道事業者)が運営、運行サービスをWILLER TRAINS株(第2種鉄道事業者)が行う体制とした。

・路線名や駅名の変更、企画乗車券の発売、イベントの企画など。

・地域住民参加型の旅行商品の企画・販売に取り組む。

・観光列車、走るダイニングルームを体験。

○まとめ

地域社会に密着した鉄道として地域の特色を引き出し、いろんな面で良き工夫されていた。



△ 京都丹後鉄道車内

議会に対する

町民アンケートを

実施！

昨年12月に、無作為に抽出した町民100人を対象にアンケートを実施いたしました。結果、362人からご回答をいただくことができました。

今回頂戴したご意見を真摯に受け止め、町民皆様にとつてより一層の開かれた議会を構築してまいります。なお、集計結果は今後、本町のホームページなどに掲載させていただきます。ありがとうございました。

自治功労表彰

2月16日、自治功労として次のとおり表彰された。

○鳥取県町村議会議長会表彰

・町村議会議員として13年以上在職し、功労のあった者

小倉 一博 議員

・町村議会職員として在職7年以上にして、功労のあった者

寺坂 武文 職員



10人が一般質問しました。

ここが聞きたい

一般質問

※質問や町長などの答弁は、質問した議員の原稿に基づき掲載することになっており坂根實豊議員は原稿を未提出であるため掲載していません。

テーマ	質問事項	質問者	頁
教育	子ども・子育て支援事業計画	奥田	8
	中学校の不登校問題	高橋	10
	人権教育	森	11
	人権問題学習会と3つの差別解消法	小倉	12
	ネット対策及び不登校対策	川西	13
	小中学校の教育環境の整備	川西	13
	全国学力テスト	栄田	15

テーマ	質問事項	質問者	頁
商工・観光	きらめき商品券	森	11
	観光と交流人口の増加	小倉	12

テーマ	質問事項	質問者	頁
安全・安心	除雪対策	奥田	8
	防災対策	小倉	12

テーマ	質問事項	質問者	頁
まちづくり	任期満了に伴う吉田町長の進退	尾島	7
	ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の実情や、予防など今後の取り組み	尾島	7
	職員研修	奥田	8
	国際交流事業	岡嶋	9
	地区公民館のあり方とは	岡嶋	9
	町民から聞こえて来る町政への想い（その2）	岡嶋	9
	生ゴミ処理	坂根	
	町長の政治姿勢	高橋	10
	住宅新築資金貸付（旧）、現行の町営住宅入居に際しての連帯保証人	川西	13
	循環型社会	中村	14
	公共施設の活用	栄田	15
	私の夢、町民ホール	栄田	15



尾島 勲 議員

町長の進退

任期満了だが

町長/立候補する

【質問】 就任約3年7か月を振り返るとともに、任期満了に伴う町長の進退について伺う。

【答弁】 吉田町長

主な取り組みは、第二子以降の保育料無償化・小中学校祝い金制度設立・準Lab・小中学校の適正配置およびICTを活用した授業展開・若桜鉄道の観光化・町営バスの利便性向上・行政懇談会やむらづくり座談会の開催などだ。進退については、引き続き町政を担わせていただき、諸課題に取り組みたい。立候補する。



▲ みんな元気に100歳体操 (下私都きんさいや)

ロコモティブ
症候群予防

本町の实情や取り組みは

町長/ロコモ予防の運動教室は無い
教育長/四肢の検査を実施している

【質問】 ロコモティブ症候群（運動器症候群 ※注1）の本町における実情や、予防など今後の取り組みは。

【答弁】 吉田町長

ロコモ予防を掲げての運動教室は無いが、健康づくり事業や介護予防事業で行っている各種の運動教室、まちづくり委員

【質問】 学校では体育や縦割り班の活動などで体づくり運動を始め、体を動かすことの良さや楽しさに触れさせながら指導している。また、昨年度より発育測定で四肢の検査を実施し、スポーツ障がい未然防止や早期発見に努め、バランスよく運動することを意識づけている。

【答弁】 菟田教育長

会での取り組みが予防に繋がっている。保育所では意図的に全身を使った運動を取り入れ、バランス感覚を養うように努めている。また、散歩や川遊びなど、自然と触れ合う活動を多く取り入れ、心身ともに健やかに成長できる保育を実践している。

【質問】 鳥取市医療看護専門学校と連携を今以上に深め、本町独自のロコモ対策に進化させてはどうか。

【答弁】 吉田町長

両者で、どのような取り組みが出来るのか、ロコモ予防を含め協議をしたい。

【質問】 動育（※注2）について、本町で取り組む用意があるのか伺う。

【答弁】 吉田町長

1歳から6歳の大切な時期に、積極的に多様な遊びを入れる必要があるし、体を止しく楽しく動かすこと、発達特性に応じた遊びを提供することを保

【質問】 新しい看護師分野の、健康スポーツナース（※注3）を育成・導入し、全世代でロコモ予防を実践するまちづくりを提案するが。

【答弁】 吉田町長

現在予定は無いが、看護師もいずれ退職になる。そういう時期になり、健康スポーツナースの資格を持った人があれば検討する。

注1 脚を中心とした運動器（骨・筋肉・関節及び神経など）で構成されている、体を動かす仕組みの障がい。
注2 幼児期の子どもたちを対象に、運動を通して心身ともに健やかな成長を促し、健康で豊かな人生を営む基礎を育てるといふ考え方。
注3 子どもから高齢者まで、ロコモ予防やメタボ予防のため、スポーツや運動及び健康に関する適切なアドバイスやサポートをする専門知識を有する看護師。



奥田のぶよ 議員

子育て支援

地方創生の重要課題では

町長/出生数の増加は大きな課題だ

質問

子ども・子育て支援事業計画推進について伺う。

①保育所運営の現状・課題は。

②特別保育の実施状況は。

③第2子以降の保育料無料の効果は。

④保育所、小中学校で実施のアレルギ―給食対応の現状は。

⑤子どもの貧困対策の取り組みは。

答弁 吉田町長

①八東地域の統合保育所が平成31年4月に開所し統廃合が完了する。保育士確保が課題であるが人員の確保・適正化を図り、安心して幼児を預けられる運営に努める。

②29年7月から実施している病児保育は10月末現在で4人。病後児保育の施設は4施設となり、一時保育、延長保育、土曜日午後保育は5施設になった。

③29年度の第2子の割合は39%。保育料は約36

00万円無償となった。経済的負担軽減を図るのは実効力ある取り組みだと考える。

④「保育所における食物アレルギー対応メニュー」を策定し、除去食や代替食で完全対応している。

⑤県が作成した「子どもの貧困対策推進計画」で31年度までの実施が達成目標とされた事業を順次実施している。

質問

予防接種の助成は必要だと思ふが。

答弁 吉田町長

郡市町の動向を注視し予算編成に当たりたい。

除雪対策

出勤基準は10センチか

町長/基本的には10センチだが

状況を見ながら対応する

質問

本年度の除雪対策について伺う。

答弁 吉田町長

八東地域にロータリー除雪車1台の新規配備を行い、昨年、中途から借り上げた車両を緊急用として1台配置した。

郡家地域にも1台緊急用の車両を追加配備した。

また、除雪路線の配置を見直し、早期除雪に努めたい。

通学路の歩道除雪は国交省や県、及び町教育委員会と協議し優先順位をつけ見直しを行っている。

出勤基準は積雪10センチで出勤としているが状況を見ながら対応する。本年度、県では町内11か所に積雪カメラを増設。情報の把握ができれば速な対応が可能になる。各集落に貸与している小型除雪機は、今年度4集落に配備し、現在55集落となる。豪雪時の集落の協力もお願いしていく必要がある。

質問

豪雪でも保育所は休みにならないが、除雪の優先順位はどうか。

答弁 吉田町長

調整をしていく必要があると思ふ。

〈その他の質問〉職員研修について



▲ 町道を除雪する除雪車



岡嶋 正広 議員

国際交流

歴史的問題の解決姿勢が見えにくい現状だが

町長/重要なパートナーと考える

質問

韓国横城郡との子ども交流におけるホームステイという宿泊形態が近年、公が用意した施設での宿泊であり内容も簡素化され、お互いの文化の相互理解を深める目的が薄れているのでは。

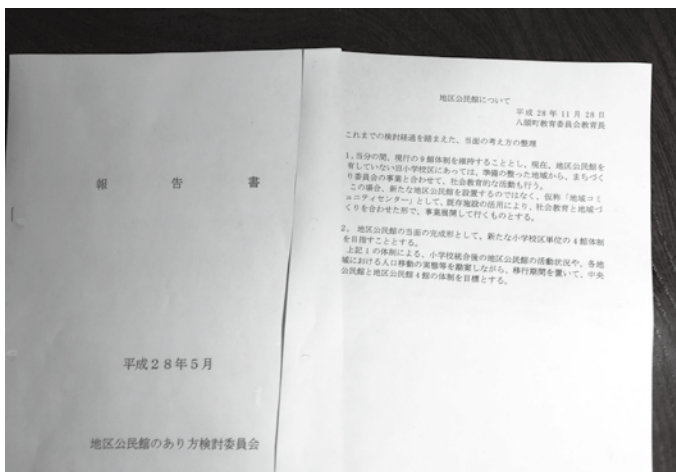
また昨今の反日感情を考えると大変重苦しく感じる。国際的、歴史的な問題を解決していこうとする姿勢が見えにくい現状にある今、このまま続けることはどうかと感じる。

このような状況の中、子ども交流についての見解及び国際的な事情という観点からの見解を問う。

答弁 吉田町長

子どものころから外国の文化に触れ、様々な体験をすることは、人間形成にとって意義がある。国際社会を体験でき、世界につながる唯一の窓口であると考えており、子ども交流は継続したい。またお互いの信頼関係

のもとでの交流推進が大切であり、八頭町にとって横城郡は重要なパートナーと考える。



▲ 検討委員会の「報告書」と教育長の「考え方と整理」

地区公民館

検討委員会の議論がなぜ4館体制か

教育長/あくまで方向性でありこれから探っていく

質問

地区公民館のあり方検討委員会の「報告書」及び教育長の「これまでの検討経過を踏まえた、当面の考え方の整理」について伺う。

この報告書は予想される現状と課題が単に網羅されている。

なぜこの議論の結果が将来4館体制を目指すものにつながるのか。あまりに内容が飛躍しすぎであり、検討経過を踏まえたものと言えるのかどうか疑問だ。

「当面の考え方の整理」は教育長個人で書かれたものであり、報告書との整合性を持たせた内容とは言えないと思うが。

答弁 菟田教育長

議会特別委員会で私から示し、議論した中である程度の理解をもらった。

当面の考え方の整理で、あくまでも方向性として示している。これらのやり取りの中である

べき姿を探っていくという段階にあると思う。

質問

教育長がまとめたものによると、「教育委員会が地区公民館事業として、まちづくり委員会の事業と併せて社会教育的な事業も行う」とあるが、本来のルールから外れているのではないか。

答弁 菟田教育長

教育委員会がその事業を行うということではない。まちづくり委員会の行う事業とそれは別のものという理解である。

〈その他の質問〉

町民から聞こえてくる町政への想い(その2)



高橋信一郎 議員

政治姿勢

トップダウンの町政と感ずるが

町長/提案があればもらいたい

質問

本町が良くなっているとはさほど感じられない。今の町政がトップダウンで、住民の提案がされたことがないからだ。

総合計画も合併時に中央（霞が関）で作られた骨格に則って進められているだけだ。町長の色が出ないのはそういうことだ。

また、学生服のことについて、公正取引委員会が安価にするよう学校に改善を促すとのこと。以前、「教育委員会は制服の価格には関わらない」と答弁された。

ところが、公正取引委員会の指導に従うと、今やっている補助金が浮く。その浮いた補助金を他のサービスに回せる。役所はそうした財源を生む努力が足りないと思うがどうか。

答弁

吉田町長

色々な考え方なり意見があるのは承知している。そうした中で、一



▲ 雪の中の通学風景（才代）

緒になって町づくりということは考えて行く必要がある。小中学校入学のお祝い金制度については、高橋議員の提案により対応させてもらった。そのような中で、様々な提案があればもらいたいと考えている。

不登校問題

教育長の認識はどうか

教育長／不登校があつて良いとは考えていない

質問

答弁で昨年度の不登校は、郡家11人・船岡7人・八東4人。その内、女子生徒が13人と聞いた。これほどの人数が発生しているにも拘わらず、この一年半、教育委員会の毎月の定例会で不登校と言う文字（議事録）が出たのは一回だけ。会議資料は教育委員会事務局で作成すると思うが。

質問

私共には議事録に載らない部分は見えない。結果に繋がれば良いが、問題が減らないから不安だ。全国学力テストの開示も同じ考えだ。教育長や校長の評価だけで住民に先生を評価する仕組みがないが。

質問

不登校は、全国的にも先生と子どもとの不協和音が一番の要因だとデータが出ている。親が相談するところは学校しかない。ところが、親の学校に対する不信感が頂点に達している。

こうした問題意識のもとにソーシャルワーカーを常勤配置したとのことだが、仕事の内容は。

答弁

荻田教育長

議事録は、議案として出されたものの審議でそれ以外は載らない。ただし、年に一回は学校訪問するなど、委員方は不登校の状況をご承知と考えている。

答弁

荻田教育長

人事権との関連もあるし、教育は政治から中立という大原則を踏まえるべきだ。

また問題意識のもとに県下に先駆けてソーシャルワーカーを常勤配置した。全く審議していかないと言うことではない。

答弁

荻田教育長

直接的カウンセリングをするのではなく、指導主事と一緒に専門的な機関と連携しながら、対策を講じて行くのが大きな仕事だ。



森 亜紀子 議員

きらめき商品券

販売の方法は

町長/広く行き渡るように検討した

質問

本町のきらめき商品券は毎年行列になるほどニーズがある。しかし毎年購入できなかった人も多くある。販売場所、数量、方法の検討も含め伺う。

①販売の場所は妥当か。
②発行総額5000万円のうち、本町の補助額は。

③購入限度額一世帯上限四人の根拠は。
④購入者が期限内に使用しているかの把握は。

答弁

吉田町長

①商工会の船岡会館、八東会館、郡家駅内のぶらっとびあ・やずの3か所で販売し妥当と考え

②平成29年度は総事業費5905万円の申請額に対し600万円の補助金の交付をした。

③プレミア感を持ち、少しでも広く行き渡るよう検討を行った結果、昨年の5人から4人に決定した。

④28年度の換金率は99.74%であった。

質問

3か所で販売の数量は決まっているのか。

答弁

吉田町長

相対的に郡家が2、船岡が1、八東が1の割合で販売している。

質問

全く買えない人もあり公平な税金の投入といえないのでは。

答弁

吉田町長

一番多い時は上限一世帯6人までだったが対象者を少なくした。駐車場なども含めて検討課題と考える。

答弁

吉田町長

①人権啓発センターは人権尊重意識の高揚と福祉の向上や部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消を図り、周辺地域と一体となった活動の拠点施設である。

②資質の向上を図るため、各種研修会に参加し、

人権教育

「人権啓発センター」のあり方は

町長/機構改革の中で現在の姿がある

質問

本町の人権教育の拠点は「人権啓発センター」と考える。人権教育の推進などについて伺う。

①中央人権啓発センターの役割は。

②法律を受けて相談体制の充実に向けた研修や人材育成は。

③学校教育の中で、人権教育の時間数は。

④人権教育主任の職務は。

個々のスキルアップをして信頼されるよう研鑽している。

答弁

荻田教育長

③各学年年間十時間前後である。

④目指す子どもの姿を見据え、身につけさせたい資質、能力を教育活動に取り入れること、より良い教材開発、研修会の設定、教職員や保護者の意識の向上、やずっ子学習会への参加、企画立案や子どもたちの実態に応じた教育支援ができるよう校内委員会の構成員となっている。

質問

3地域にひとりずつ行政の職員を配置することは考えていないか。

答弁

吉田町長

機構改革の中で今の姿がある。

質問

人権教育主任の職務は多く担任を兼務しないようにできないか。

答弁

荻田教育長

県の教育委員会に問題提起をしながら話してみたい。



▲ 八東小学校交流会



小倉 一博 議員

人権問題

法整備への対応は

町長/法の周知を図る

質問 平成28年に3つの差別解消推進法ができた。「人権問題学習会」の開催や、法整備の意義、今後の取り組み方法を伺う。

答弁 吉田町長

差別を受けている弱い立場にたつての法律が整備された。町民に法の周知を図り理解してもらうことが重要で、学習会や講演会などの機会を捉え、取り組みの充実を図る。

質問 国民として法の主旨を認識して、法に沿った行動が求められる。学習会でも共通認識する必要がある。行政として、法に沿ってどう対応するのか。学習会にどう取り入れるのか。

答弁 吉田町長

学習会のマンネリ化や出席者の固定化は認識している。行政の責務も法

に謳ってあり、行政の取り組みに対して、町民の理解をいただく必要がある。

質問 学習会の推進など職員

の世話になっていて、一般職員の地元学習会への参加を徹底してもらいたい。

答弁 吉田町長

職員の人権研修、学習会を含め、講演会などへの参加を促している。

質問 学校教育から社会教育へつなぐ意味でも、若い人の学習会参加を検討してもらいたい。

答弁 藪田教育長

社会とつながっていく学校教育でなくてはならない。社会教育との合同研修などを行っていく。

災害対応

防災訓練の見直しを

町長/支援職員と相談する

質問 今回の台風は大きな被害が出た。被害状況とその対応を伺う。防災は不断の備えが肝要だ。防災訓練は、今の方法で事が足りるか。

答弁 吉田町長

11月の臨時会で災害復旧費に1億円余を計上した(12月議会にも1億7千万円追加補正)。台風18号と21号を合わせて、農業用施設10件・林道4件・公共土木施設4件・小規模農業施設26件・交通施設1件の計45件の被害が出た。順次測量設計、積算を行い、災害査定を受けて対応する。

台風18号では、2か所の避難所を開設、5集落に避難勧告をして18世帯

38人が避難した。21号では、4か所に避難所を開

設、5集落に避難勧告をして8世帯21人が避難した。河川の巡回などで消防団や自警団に世話になった。

本町では、9月1日を「防災の日」とし、直近の日曜日に防災訓練を行い、地震を想定した一時

避難所への避難訓練としている。今年の重点取り組みは避難行動要支援者の安否確認と避難誘導支援、要支援者の相談窓口の設置とした。

各集落で異なるが、本部設置、避難誘導、被害調査などが基本だ。各地域でモデル地区を設定して炊き出しや避難所設置などを追加実施している。各集落の支援職員と相談しながら取り組んでもらいたい。今年99%の実施だった。

〈その他の質問〉

観光と交流人口の増加



▲ 流された護岸



川西 聡 議員

ネット及び
不登校対策

ネットの過度な利用に対する 注意喚起を

町長/積極的に広報へ記載する

質問

文部科学省が2019年度未だに児童・生徒1人1台の情報端末による教育を目指すなど、学校での情報通信技術、ICTの活用を推進している関係上、特に子どもたちのインターネット依存への対策は急務となっている。

①町民に対して、インターネットなどの過度な利用について、注意を喚起するために広報やホームページなどに情報を積極的に載せるべきでは。②「ネット依存症」に対する相談体制や医療機関との連携を図ること及び具体的な状況の把握は。

答弁

吉田町長

①積極的に掲載する。②相談窓口は保健課だ。県には保健所及び精神福祉保健センターがある。必要に応じてそれらの機関との連携を図り支援を行う。案件は今はない。

質問

①全国学力・学習状況調査によるインターネット利用状況の把握などで、インターネットが本町の子どもたちの生活に与えている影響の実態は。②保護者と子どもたちへの啓発や情報提供、家庭での「ルール作り」などの奨励は。③教職員に対しての情報処理能力を含めた研修の

実態は。④本町の児童・生徒の不登校の現状は。⑤適応指導的な「やす教育支援センター」みどりヶ丘に通う不登校児童・生徒の実態及び今後の支援のあり方は。⑥不登校対策への総合的かつ包括的な支援や援助を提供する（スクールソーシャルワーカー）の活用現状は。

答弁

菟田教育長

①普段1日当たりのテレビゲームの時間を問うと3時間以上と答えた小学校児童は30%、県は34%、全国では33%。中学校の生徒ではそれぞれ、20%・27%・25%。小中学校とも県及び全国平均を下回る。

また、携帯電話やスマートフォンでの通話やメール、インターネットの時間を問うと、3時間以上は本中学校生徒が12%、県14%、全国18%でこれも全国を下回っている状況だ。

②中学校の定期テストの勉強中に合わせ学習習慣の定着と学習時間の確保の取り組みを行っており、家庭のルール作りの推進に一役買っている。③学校体制及び個人の必要性に応じて研修機会を捉え研鑽を積んでいる。④最近数年の不登校出現率は、小学校は高くないが中学校は県の出現率を上回っている。⑤「みどりヶ丘」は八頭・若桜・智頭の3町で運営している。不登校児童・生徒を支援するための施設であり本町の通級者は数名。⑥当初の週1回の勤務体制から、生活困窮や養育支援など関わるケースの増加により常勤体制となった。不登校の未然防止にも繋がっている。

〈その他の質問〉

○住宅新築資金貸付（旧）、現行の町営住宅入居に際しての連帯保証人について

○小中学校の教育環境の整備について



▲ やす教育支援センター みどりヶ丘



中村 美鈴 議員

循環型社会

目指すべきでは

町長/大事なことであり推進する

質問

日本は高度経済成長期以降「大量生産、大量消費社会」に突入。その後大量のごみが発生し、深刻な社会問題に発展した。

- (一) ごみの減量
- ① 資源リサイクル活動の支援をしているが、現状と取り組みは。
 - ② 可燃ごみから生ごみを分別収集しているが進捗状況と課題は。
 - ③ コンポスト容器利用で、生ごみの農地還元に努める点での現状と課題は。
 - ④ 不法投棄の防止について、取り組みの現状と課題は。
 - ⑤ 集落単位の古紙回収の促進と資源回収支援の現状と課題は。
- (二) 食品ロスの削減
- ① 食べられるのに捨てられる「食品ロス」削減対策は。
 - ② 食品ロスを減らす取り組みが重要である。本町の現状と課題は。
 - ③ 国の第三次食育推進基本計画の中で、環境保護

の観点からの取り組みは。

- (三) 災害ごみ、廃棄物
- ① 台風での本町の対応は。
- ② 今後の課題は。

答弁 吉田町長

- (一) ①本町では、ごみを可燃ごみとプラスチックに分別収集し、資源化を図っている。古紙、生ごみ分別収集も町が委託収集している。
- ②生ごみは54集落を分別収集。平成27年度は256トン、昨年は239トンと少し減少、新規加入の進捗、加入促進を図っている。
- ③町の補助金を活用し、コンポストを購入している。補助金の活用は区長会で啓発する。
- ④環境美化パトロール(臨時職員)を月4回実施している。また不法投棄の多い場所に啓発看板を設置している。
- ⑤古紙は収集希望があれば収集しているが、道端に収集ボックスが増えていく。PTAなどで資源

回収した際、本町では補助金を出している。27年度、46団体に約66万円、28年度37団体に約60万円を交付した。

- (二) ①日本では年間600万トン以上の食品が捨てられているのが現状だ。日本の食料自給率は、輸入に頼り無駄のない消費が大事だ。
- ②現状はデータ無し。ロスの約半分は家庭から出る。

③県は、3010運動(※注)を提唱し、残さず食べる取り組みを推進。食育ポスターに食品ロスの内容を盛り込み啓発する。

- (三) ①本町は台風の災害ごみは無い。
- ②異常気象のため、災害ごみ処分の計画策定の必要があり、鳥取県の災害廃棄物処理計画を参考に、地域防災計画に明記する。

質問

町民一人当りの減量値はあるか。

答弁 吉田町長

減量化は進んでいるが、減量値は作成していない。

質問

同僚議員も子ども食堂のことを言い、町長も前向きに考えると答弁した。循環型社会を目指すべきと要望するが。

答弁 吉田町長

食は大事なことだ。直営ではないが取り組みはする。循環型社会は大事なことであり推進したい。

注

宴会の開始から30分と、閉宴10分前には席に座って食事を楽しみ、食品ロスを減らすことを推奨する運動



▲ 循環型社会をめざして



栄田 秀之 議員

公共施設

活用は

町長/考えたい

質問

学校、保育所の統合が進み、残すところ八東保育所のみとなった。今、この跡地の活用が図られている。

①旧八東小学校跡地に鍛冶屋温泉の施設を移転してはどうか。

②私都の学校跡地に間伐材を利用したバイオマス発電所をつくり、発電熱を利用したハウス栽培で野菜・花卉・シイタケ・果樹など、1棟を数区画に分けた栽培はできないものか。
③山上工業団地に企業は、なかなか来ない状況だ。グラウンドゴルフ場をつくり活用しては。

答弁

吉田町長

①施設管理運営は社会福祉協議会が行っている。

老朽化が進み、コストは年々増加している。移転や跡地の活用は、現時点では方針を定めていない。

②跡地利用の有効活用の一つとして町有地を、農業者に貸すことは可能

だ。バイオマスを活用した農業振興は検討したい。

③土地所有者は民間企業であり、施設整備などの投資が必要だ。引き続き企業誘致を考えている。

質問

平成27年に公共施設白書を作成してから2年になる。278施設の増減数は。

答弁

吉田町長

今現在279施設だ。

質問

私都地域の拠点づくり、空き地を利用した特産品の農業の事業化、農業の6次産業化による雇用の確保することについては。

答弁

吉田町長

6次産業化は農商工業の連携した形で、ハウス栽培を他町も進めている課題もあり考えたい。

町民ホール

6億円あれば

建設しては

町長/当面は既存の

施設を利用

質問

今、6億円あれば中央公民館に隣接して町民ホールを建設したい。現在の建物は古くて手狭であり設備の整ったホールで音楽、講演などを行ってもらいたいと思ってる。

①今、なぜ6億円ものホッケー場が必要なのか。台

風災害で1億円の補正を計上したのに、まだ追加が必要とのことだが。

②学校統合のメリットとして団体競技ができるようになったが、子どもたちが一番やりたい部活動サッカー部をつくることはどうか。

③町民ホールの建設は。

答弁

吉田町長

①昭和60年のわかとり国体を契機に、ホッケー競技の普及を図ってきた。ホッケー普及のために環境整備をしたい。

②3中学校の部活を継続した。サッカー部の要望もあったが、職員会議で新設しないこととした。
③当面は、八東体育文化センターを利用したい。

質問

八頭中学校のホッケー練習場の整備は必要と思う。

今回の町営ホッケー場の建設6億円の計画については、人口減少と厳しい財政状況を加味すると疑問だが。

答弁

吉田町長

私の原点は、中学校の生徒のホッケー場の整備をすることだ。

（その他の質問）
全国学力テストについて



▲ 築41年の中央公民館

よく分かる

議案等議決結果 (第9回、第10回臨時会・第11回定例会)

○全会一致で可決・認定・採択したもの

議案等番号	件名	議案等番号	件名
第9回臨時会		第10回臨時会	
123	平成29年度八頭町一般会計補正予算（第7号）	125	平成29年度八頭町一般会計補正予算（第8号）
第11回定例会			
128	八頭郡就学指導推進協議会規約の変更	141	平成29年度八頭町一般会計補正予算（第9号）
129	八頭環境施設組合の解散	142	平成29年度八頭町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
130	八頭環境施設組合の解散に伴う財産処分	143	平成29年度八頭町公共下水道特別会計補正予算（第2号）
131	八頭町改善センター等設置条例の一部改正	144	平成29年度八頭町農業集落排水特別会計補正予算（第2号）
132	船岡竹林公園の指定管理者の指定	145	平成29年度八頭町介護保険特別会計補正予算（第2号）
133	八東フルーツ総合センターの指定管理者の指定	146	八頭町職員の給与に関する条例の一部改正
134	やまめ供給施設の指定管理者の指定	148	八頭町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正
135	大門体験農園の指定管理者の指定	150	平成29年度八頭町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
136	下私都農産物加工施設の指定管理者の指定	151	平成29年度八頭町簡易水道特別会計補正予算（第2号）
137	ぷらっとびあ・やずの指定管理者の指定	152	平成29年度八頭町公共下水道特別会計補正予算（第3号）
138	町道の路線変更	153	平成29年度八頭町農業集落排水特別会計補正予算（第3号）
139	町道の路線認定	154	平成29年度八頭町介護保険特別会計補正予算（第3号）
140	八頭町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	発議10	道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書の提出

○賛否の分かれたもの

議案等番号	議席番号 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	結果
		奥田のぶよ	川西 聡	小倉 一博	小林 久幸	森 亜紀子	中村 美鈴	岡嶋 正広	坂根 實豊	小原 徹也	栄田 秀之	高橋信一郎	下田 敏夫	尾島 勲	
第10回臨時会															
124	町有財産の処分（バイケミ農法用機械）	○	×	○	—※	×	○	×	×	○	○	×	○	○	可決
第11回定例会															
126	財産の貸付（竹粉碎機ほか）	○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
127	財産の貸付（米粉製粉機ほか）	○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
147	八頭町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
149	平成29年度八頭町一般会計補正予算（第10号）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議11	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出	○	×	○	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○	可決

賛成「○」、反対「×」、議場退席「—」で記載。

議案の採決は、谷本正敏議長を除く13人で行う。※直接利害関係者であるため、除斥につき退席したもの。

平成29年（4月～12月）定例会等の出欠日数一覧

【定例会・臨時会】

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
会議名	奥田のぶよ	川西 聡	小倉 一博	小林 久幸	森 亜紀子	中村 美鈴	岡嶋 正広	坂根 實豊	小原 徹也	栄田 秀之	高橋信一郎	下田 敏夫	尾島 勲	谷本 正敏
第3回臨時会（4/27）	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠													
第4回臨時会（5/29）	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠													
第5回定例会（6/7～20） ※本会議6日間	出	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	欠													
第6回臨時会（7/27）	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠													
第7回臨時会（8/23）	出	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1
	欠							1						
第8回定例会（9/6～22） ※本会議5日間	出	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	欠													
第9回臨時会（10/3）	出	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1
	欠							1						
第10回臨時会（11/17）	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠													
第11回定例会（12/6～19） ※本会議5日間	出	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	欠													

【議会運営委員会・常任委員会・特別委員会】

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
委員会名	奥田のぶよ	川西 聡	小倉 一博	小林 久幸	森 亜紀子	中村 美鈴	岡嶋 正広	坂根 實豊	小原 徹也	栄田 秀之	高橋信一郎	下田 敏夫	尾島 勲	谷本 正敏
議会運営委員会（20回）	出	20		20		20				18	19	20	20	20
	欠									2	1			
総務教育常任委員会（8回）	出	7	8				7		7	8	8			8
	欠	1					1		1					
産業福祉常任委員会（9回）	出			9	9	9		6				9	9	
	欠							3						
議会広報常任委員会（12回）	出	12	12		10	11	12			12				11
	欠				2	1								1
議会改革推進調査特別委員会（6回）	出	6	6	6	6	6	6	5	6	6	6	6	6	6
	欠							1						
予算・決算に関する調査特別委員会（11回）	出	11	11	10	11	11	11	10	11	11	10	11	11	10
	欠			1				1			1			1
地方創生事業検証調査特別委員会（2回）	出	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	欠													

やず・ドリーム(夢) リレートーク



笑顔の輪が広がる〜八頭町子育てサークルHonko〜

▲ メンバーの皆さん

八頭町で子育てをしているママたち有志で活動しています。2017年3月に5人のメンバーでスタート。現在は17人です。

主な活動

子育て支援センターの事業を中心に月に二回の集まりで情報交換などをし、子育てフェスタや町内イベントの参加、まちづくり委員会と世代間交流もしています。

12月には「おでかけやずNAVI」を作り、子どもと一緒に楽しめるスポットをまとめました。メンバーが現地調査で取材をして、写真撮影やイラストを描き、出来上がった時には達成感がありました。お店の方とのやりとりが楽しく、取材をして

今後の活動

新たなメンバーの募集や子どももママも落ち着いて楽しめるような活動や充実した子育てライフになるように、お互いの趣味や時には悩みも共有しながら、受け継がれていくサークルでありたいと思います。また妊娠中からママになる準備として「プレマクラス」なども考えています。妊婦さんが赤ちゃんのお世話やふれあいを通して、ママになる喜びを感じられたらいいな・・・と思います。

子どもたちとママたちが交流を通して幅広く、笑顔の輪が広がるサークル活動を続けていきたいと考えています。

定例会本会議を
ケーブルテレビで
中継しています

議会の傍聴を
してみませんか

一般質問は
再放送しています

TEL 0858-72-3975
FAX 0858-72-2641
(議会事務局)

八頭町議会

検索

3月定例会(予定)(会期19日間)

※変更になる
場合があります

月 日 曜	開議時刻	日 程	月 日 曜	開議時刻	日 程
3月5日 月	8:40	○ 全員協議会 ○ 本 会 議 1 開 会 2 会議録署名議員の指名 3 会期の決定 4 諸般の報告、請願・陳情の委員会付託 5 町長施政方針 6 議案上程 7 同上に対する町長の提案理由の説明	3月11日 日	休日	
	9:30		3月12日 月	9:00	○ 予算・決算に関する調査特別委員会
			3月13日 火	9:00	○ 予算・決算に関する調査特別委員会
			3月14日 水	9:00	○ 予算・決算に関する調査特別委員会
			3月15日 木	9:00	○ 予算・決算に関する調査特別委員会
			3月16日 金	9:00	○ 常任委員会
			3月17日 土	休日	
	散会后	○ 全員協議会(議案説明)	3月18日 日	休日	
3月6日 火	9:30	○ 本 会 議 1 議案に対する質疑等 2 議案の委員会付託	3月19日 月	13:30	《午前：町内小学校卒業証書授与式》 ○ 議員全員協議会
3月7日 水	9:30	○ 本 会 議 1 町政に対する一般質問	3月20日 火	9:00	○ 全員協議会
3月8日 木	9:30	○ 本 会 議 1 町政に対する一般質問	3月21日 水	休日	(春分の日)
3月9日 金	13:30	○ 本 会 議 1 町政に対する一般質問	3月22日 木	休会	事務整理日
3月10日 土	休日		3月23日 金	9:30	○ 本 会 議 1 委員長付託議案審査報告 2 議案の可否決定 3 常任委員長付託請願・陳情審査報告 4 請願・陳情の採否決定 5 閉 会

☐ …ケーブルテレビで本会議の中継を予定しています。

編集後記

12月定例会では、財産の貸付や指定管理、補正予算で台風被害による災害復旧費などが可決しました。

また年も改まり、3つの特別委員会(地方創生事業検証調査・議会改革推進調査・予算決算に関する調査)の審議も始まり様々な角度から町政をチェックし、皆様の声を反映することを責務として議論を重ねています。

広報委員会でも「やず町議会だより」で議会の情報を正しく早くお伝えできるよう研鑽に努めていきたいと考えています。皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。

(記：森 亜紀子)

編集委員

- 委員長 奥田のぶよ
- 副委員長 小原 徹也
- 委員 川西 聡
- 委員 小林 久幸
- 委員 森 亜紀子
- 委員 中村 美鈴
- 委員 尾島 勲